

2021年5月28日

【ぐんま医工連携活性化ファンド】 KOTOBUKI Medical株式会社への追加出資について

株式会社地域経済活性化支援機構のファンド運営子会社であるREVICキャピタル株式会社が、ぐんま地域共創パートナーズ株式会社と共同で運営するぐんま医工連携活性化ファンド(以下「本ファンド」という。))としんきんの翼(信金キャピタル株式会社が運営するファンド)において、KOTOBUKI Medical株式会社(以下「KOTOBUKI Medical」という。)からの第三者割当増資を引き受け、シリーズAラウンドとして、出資を実行しましたので、お知らせいたします。

なお、本ファンドは2019年10月にシードラウンドにおいても出資を実行しており、本件は追加出資となります。

KOTOBUKI Medicalは2018年11月に設立され、手術トレーニング環境の充実を通じた医療技術の向上・発展をミッションに、手術トレーニング用品を開発・製造する企業です。同社が開発する模擬臓器(製品名「VTT」:Versatile Training Tissue)は、食品素材を主原料としており、①臓器の再現性の高さ、②電気メス等のエネルギーデバイスを用いたトレーニングへの対応、③豚などの生体臓器との比較で衛生面や取り扱いの利便性に優れることなどが特長です。医療分野で導入が拡大している手術支援ロボットにも対応した製品をリリースする等、幅広い分野で同製品が活用されることを企図しております。近年は倫理面から生体臓器の使用を控える医療機器メーカーを中心に、代替品として当社製品が採用されております。

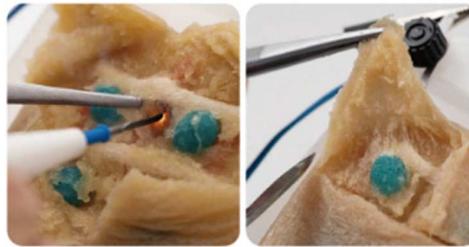
今般、国内外の企業向け需要が高まってきたことで、製品量産体制構築、新製品開発の必要があり、本資金を設備投資や人材採用に積極的に活用する計画です。製品開発に際しては、本ファンドが拠点とする北関東の大学・研究機関との連携やものづくり企業とのアライアンス等にも積極的に取り組んでおります。

今後も本ファンドは、医療産業の振興に資する事業者に対し、事業の成長に必要なリスクマネーの提供等を行うことで、「産・学・官・金」(※)連携の構築による、地域経済の活性化並びに地方創生に資する産業のモデルケースを構築したいと考えております。

※「産・学・官・金」とは、産業界、大学等学術機関、国・自治体、金融機関の略称

【取扱製品例】

VTT:医療ロボットモデル



VTT:熱変色モデル



KOTOBUKI Medical株式会社の概要

企業名	KOTOBUKI Medical株式会社
設立	2018年11月
本社所在地	埼玉県八潮市
代表取締役	高山 成一郎
事業内容	医療関連機器の開発・製造・販売

ぐんま医工連携活性化ファンドの概要

名称	ぐんま医工連携活性化投資事業有限責任組合
ファンド総額	8.6億円
組合員	株式会社群馬銀行 株式会社東和銀行 桐生信用金庫 あかぎ信用組合 群馬県信用組合 株式会社地域経済活性化支援機構 REVICキャピタル株式会社 ぐんま地域共創パートナーズ株式会社
業務運営者	REVICキャピタル株式会社 ぐんま地域共創パートナーズ株式会社
設立日	2014年11月17日

<お問い合わせ・ご相談の連絡先>

地域経済活性化支援機構

〒100-0004東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表：TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部：TEL 03-6266-0590 担当：佐藤 剛、荒井 俊樹